

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	東日本大震災避難者転居支援事業
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input checked="" type="checkbox"/> 震災支援枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	東京都総務局及び都市整備局 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 赤帽物流株式会社
実施期間	平成23年6月15日～平成23年8月31日
支援額 (注釈参照)	7,620,603円 (内訳) ・人件費:278,967円 ・業務委託費:7,341,636円
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	旧グランドプリンスホテル赤坂を避難所として設置した都市整備局が施設を管理する西武グループとの調整の窓口となって、避難者からの相談窓口の設置及び避難所からの転居に伴い必要な支援内容を実施方法を調整した。 社会福祉法人東京都社会福祉協議会は、上記の窓口の設置、運営及び転居支援内容についての企画、準備、運営を、都市整備局及び赤帽物流株式会社と打ち合わせながら進めた。 赤帽物流株式会社は、主に避難者の転居作業について担当した。
事業概要	主に福島県からの避難者が入居する旧グランドプリンスホテル赤坂の避難所の使用期限が6月末日と定まっていたことから、その後の地域生活での不安の解消と転居に伴う作業面での支援を行うことで、避難者の転居を円滑に進める。
事業内容	1 事業内容 (1)旧グランドプリンスホテル赤坂への避難者の転居に伴う生活上の不安への相談及び転居先での福祉サービス等の紹介などを行う。 (2)転居に伴う作業を支援するため、運送業者による相談、作業を提供する。 2 実施項目及び実施方法、作業分担 (1)避難者への事業周知 ・6月17日時点で避難所に入居していた339世帯を対象に、相談窓口の設置、転居作業の支援内容を周知するチラシを配布した。チラシの作成にあたっては、都市整備局、東京都社会福祉協議会、赤帽物流の担当者が打ち合わせた内容を、都市整備局を窓口にして西武の担当者に伝え、確認を得ながら進めた。 (2)相談窓口の設置、運営(地域生活に関する事項及び転居作業に伴う事項) ・転居先での生活に関わる相談については、東京都社会福祉協議会が窓口を設置して、相談内容を聞き取り、必要に応じて転居先の区市町村、社協等に利用できる福祉サービスを聞き取り紹介することや関係機関・団体につなげる取組を行った。その際に、福祉保健局の相談窓口の支援を受けながら、情報提供を行うよう努めた。 ・転居作業に関わる相談は、赤帽物流の職員が対応し、荷造りに必要な物資を提供するなど、作業が円滑に進むよう支援した。

	<p>(3) 転居作業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所からの退去をひかえた6月下旬に転居者が集中したが、赤帽物流が赤帽を手配し、避難所から転居先までの運搬等を335件行った。 	
得られた成果及び自己評価	<p>○ 避難所からの転居前に転居先での福祉サービス等に関する情報が得られたため、避難者は事前にその利用などの準備ができた。また、区市町村社協の窓口を紹介したため、転居後に孤立することなく地域生活が営めるような関係づくりが行われた。</p> <p>○ 避難者を受け入れる区市町村、社協には、事前に転居者の情報、対応が必要な内容が伝えられたため、避難者への取組の必要性が早期に認識された。</p> <p>○ 単身や母子での入居が多かった避難者だが、転居作業を専門の運送業者が担当したため、転居作業にともなう負担、精神的不安が軽減された。</p>	
	評価ランク	<p><input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった</p> <p>(該当する評価に○を付けてください。)</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2. 添付書類

その他参考となる書類